

## ラグビー部

出版委員会の一年間の報告を書いてく  
 いうのには、少し疑問を持つ。原稿用紙が  
 枚だったので、報告はできないかも知れな  
 自分なりに「報告」という言葉も解釈し  
 く。はじめに一番記憶に残っている高体連  
 国体予選である。

ともに遠征しての試合であった。水沢宣  
 グランドと釜石の松倉グランドである。

初めての遠征試合なので、一人一人にい  
 るなことを与えたと思う。応援がいなく  
 りにくい、やりやすい、等ただマネージャ  
 だけはたいへんいそがしかったと思う。

ラグビーは十五人对十五人で、力とわざ  
 性を競うスポーツである。

人間は苦悩が大きければ大きいほど喜びが  
 いことを知っている。だが、ラグビーは  
 かない、僕みたいなの弱い者にはできな  
 と初めからきめている友達がいることは、

ラグビーを経験した者から見るとかわいそう  
 ある。

少ない人数であったがお互い気持の通い合  
 っている者が集まって一生懸命努力したとい  
 う満足感がある。ある時はどしゃぶりの雨の  
 中、又ある時は真夏の太陽の下、楯円球とい  
 っしょに、部員とはげましあい、あるいは面  
 と向かって不平不満を言い、ガツチリとスク  
 ラムを組んで伝統のラグビー部を再現しよ  
 とした。チームワークを完全にするため夏の  
 合宿も行った。ともすればクラブ活動がいや  
 になり学生生活が味けないものになる下級生  
 の意見も聞いた。一年生から一年生まで同  
 じに喜び同じにくやしさを語った。  
 下級生が立派なラグビー部を作ることを見  
 でやまない。

△今年のメンバー

。部長 戸嶋 正夫 先生

。主将 熊谷 憲治

。マネージャー 内村 輝夫

F W

1 武蔵 頼③ 9 宮崎 信行①

2 桜井 新三③ 10 大家 雄一②

3 佐藤 敏彦③ T B

4 熊谷 憲治③ 11 川口 真充①

H B

5 内沢 滋② 12 人見 直行②  
 6 藤沢 昇③ 13 細越 好範③  
 7 難波 保夫② 14 須藤 一憲③  
 8 小野寺 幹夫② F B  
 15 田屋 信一②

成績

市民大会

岩手 11 (8 3) (0 0) 0 盛農

岩手 0 (0 0) (1 1) 19 盛工

高体連(水沢)

岩手 18 (15 3) (0 0) 0 宮水

岩手 8 (3 5) (3 6) 9 黒工

国体予選(釜石)

岩手 5 (0 5) (8 6) 14 釜石

インターハイ予選

Bブロック一回戦

岩手 18 (3 15) (0 0) 0 水沢高

準決勝

岩手 0 (0 0) (0 0) 0 釜石

決勝

岩手 6 (0 6) (6 0) 6 盛農

末文で失札とは存じますが、我々をここ迄  
 育てて下さいました戸嶋先生始め先輩諸氏に  
 厚く敬意を表します。  
 (熊谷記)